



# 山野内真人佐伯市議 12月議会報告

(佐伯市議会一般質問・2024年12月4日)



## ● 歴史ある港の魚市場を守ろう！

**【質問】** 葛港市場、いわゆる港の魚市場については、県漁協の建物に移転する計画を断念し、今後は、公設市場の廃止について、関係者と調整するとのことだが、場合によれば、港の魚市場がなくなることもあるのか。

**【答弁】** そうゆうこともありうる。

**【質問】** 市は、財政負担等から、港の魚市場について、公設を廃止し、民営化するというが、それは、今日まで、港の魚市場が果たしてきた機能・役割をあまりに軽視した行政側の一方的な論理ではないか。

**【答弁】** この方針は、公設市場の在り方検討委員会からの答申を踏まえての判断である。市は、以前の一般質問でも、公設市場一本化の方針を示しており、これを維持していく。

**【質問】** 海のまち佐伯に、二つの公設の魚市場があってもおかしくない。港の魚市場については、市の主体性・責任を明確にするため、公設を維持し、愛媛県八幡浜などのように、公設の魚市場を中核施設としたにぎわいのまちづくりを考えるべきではないか。

**【答弁】** 財政負担等から、公設の維持は考えていない。港エリアのまちづくりは、魚市場だけにとらわれない議論をしていく。

# 春野慶司豊後大野市議 12月議会報告

(豊後大野市議会一般質問・2024年12月5日)



## ● 支障木伐採事業・防草コンクリート敷設事業予算の大幅増額を

**【質問】** 数十年前に比べ、どこの自治会も道路愛護デーの出席者の減少、高齢化は深刻です。右記予算を大幅に増額して自治会員の負担を軽減してもらえないか。

**【答弁】** 支障木の伐採については令和5年度は92件、1795万円の交付をした。今後も地域の要望に応えられるよう、予算確保に努める。防草コンクリート敷設工事は、自治会の要望に応じて行っており、今後も要望に応じて事業を進めていく。

**【質問】** 残骨灰の売渡しにかかる一般競争入札の導入について

臼杵市のアンケート調査が終了したと聞いた。先行で実施している大分市の市長に一般競争入札導入後の評価をお聞きしたところ、導入してよかったとの回答をいただいた。当市も一刻も早く導入すべきと考えるがいかがか。

**【答弁】** この度、臼杵市において野津町区域を対象とした残骨灰の取扱いに関するアンケート調査が終了したので、今後、臼杵市との事務協議を行い、本市にとって最善の方法を選択できるよう努める。

- 人口減少対策のための企業誘致推進事業予算の大幅拡充について
- 直近の新型コロナウイルス対策について

以上の質問をしました

